

幼稚園教諭を目指す方へ
～津久井幼稚園に就職して～

津久井幼稚園に就職して約3ヶ月が経ちました。

小さい頃からの夢が叶い幼稚園教諭になった今、大好きな子どもたちと共に、日々学びながら過ごしています。5歳児クラスの担任を持たせて頂き、4月当初は、自分の思い描いていたものと現実は違い、責任の重さを感じ、自分に担任が務まるのか不安に押しつぶされそうになることが何度もありました。実際に保育を進めていく中でも失敗を恐れたり、スムーズに活動を行えなかったりして自信が持てない日々を過ごしていました。そんな時、励みになったのは、4月初めて自分のクラスの子に会った時の子どもたちのキラキラした眼差しと毎日の子どもたちの元気な「梅田先生、おはようございます」の挨拶、そして先輩の先生方の励ましの言葉です。また、保護者様から「梅田先生、頑張ってください」「応援しています」などの温かいお言葉が自分の励みになっています。どんな時でも無邪気な笑顔で駆け寄ってくる子どもたちの姿をみると自然とパワーが湧いてきて前向きなことができます。保育の進め方に悩んだときや分からぬことがあると丁寧にアドバイスをしてくださったり励みの言葉をかけてくださったりする先輩の先生方が津久井幼稚園にはたくさんいるので一日一日を過ごすことができています。

今では少しですが、自信を持って保育ができるようになり、心にゆとりが出来、保育を楽しむことができている自分に驚いています。日々の保育を振りかえり、どのようにしたら子どもたちの成長に繋がるかを考え、実践していく中で、成長を感じることができた時はとても嬉しいです。子どもの成長を身近で感じられることにやりがいを感じます。今は運動会や鼓笛に向けて毎日、練習を子どもたちと一緒に頑張っています。真剣な眼差しで一生懸命練習する子ども達の姿を見ると、私ももっと頑張らなくては、、、という気持になります。

津久井幼稚園は「褒めて伸ばす」ということを大切にしています。小さなことでも褒めると子どもの自信につながります。自信が持てると、できなかつたことにも意欲的に挑戦する姿が見られたり、もっと出来るようになりたいという気持ちになります。これからも子どもたちの伸びたいという気持ちを大切にし、良いところを沢山見付け、褒めていきます。毎日の保育から沢山のことを学び、努力することを忘れず、子どもたちと共に私も成長していくよう精一杯頑張ります。

2015年3月 鎌倉女子大学児童学部卒業

一緒に子ども達のために笑顔を
～津久井幼稚園に就職して～

津久井幼稚園に就職して3ヶ月が経ちました。

幼いころからの夢であった幼稚園教諭になることができ、担任となりクラスを持たせて頂くことが出来た喜びと期待でいっぱいでした。それと同時に私に上手くクラスをまとめることが出来るかどうか毎日不安でした。

初めてクラスの子どもたちに会った時の嬉しさと感動は、これから先も忘れません。

実際に保育が始まると、思うように進められず、どのように声かけをすればよいのか悩み落ち込んでしまう日もありました。

しかし、津久井幼稚園に就職して3ヶ月が経ち少しずつですが園での生活リズムを理解することが出来るようになりました。上手く行かず悩んでいることや分からぬことを先輩の先生方に聞くと、分かりやすく、丁寧に教えて下さるのでとても心強くこれからも頑張って行こうと前向きな気持ちになることが出来ます。

失敗も多くてしまい、先輩の先生方にはたくさんご迷惑をおかけしてしまっていますが、そんな時もフォローして下さります。同じ失敗を繰り返さないよう、なぜ失敗してしまったのか考えるようにしていきます。

津久井幼稚園では「ほめて伸ばす」ということを大切にしているのでどんな小さなことでも「すごいですね」「上手ですね」と声を掛けるようにしています。

ほめることで子どもたちは笑顔になり、ほめられた子だけでなく周りの子ども達も、もっと頑張ろうと思うことが出来ます。

また、新任なので保護者様からどう思われるのか不安な気持ちもありましたが、温かく見守ってくださり、このクラスの担任になることができ本当に良かったなど感じました。

幼稚園教諭の仕事は、楽しいことばかりでなく大変なことも多いですがとてもやりがいのある仕事です。

また周りには優しくアドバイスをして下さる先生方がいるので、恵まれた環境で働くことができとても幸せです。

これからも周りの方に感謝の気持ちを忘れずに、笑顔を大切に子ども達と共に私も成長して行けるように精一杯頑張ります。

帝京平成大学 現代ライフ学部人間文化学科 保育・幼稚園コース

平成26年度卒業

津久井幼稚園に就職して
～子どもに寄り添える保育者になるために～

津久井幼稚園に就職してから3ヶ月が経ちました。4月当初は自分のクラスを守たせて丁貞いたに喜びと同日寺に一人で旦任か「自分で斧をもつかない」といっていました。実際に1保育を行ってみると年少児と年長児と関わる難しさはとても多く、どのように言葉を掛けたら良いのかなど小声で毎日していました。一年目で年少児クラスを守たせて丁貞き、自分がどのような保育者であるべきなのか日々考えた事も多くあります。日々経験につれ子ども達も涙しなくなったり園生たちに自ら参加するようになります。年少児クラスの担任としてからを感じる喜び、感動が「ある事に気が付きました。子どもに寄り添える保育者になりたい」という目標票がありましたが、「日々過ごしていく中で子ども達から学びことばかりで私も自身も一人の人間として成長していく事を実感します。大変な事も多くのありますから、子ども達の成長を近くで感じ毎日関わることができることはとても嬉しいです。これからも、どのように成長していく姿があるのか、と考えると今が楽しみです。

不安な事も多い日々ですが、周囲には優しくアドバイスして下さる園長先生や先輩の先生方が沢山居ます。分からなければ「あたの何でも聞いていいよ。」など先生方が「言って下さい」毎日クラス思いついこうという気持ちになりました。また、来ていますので「保育費木表かうどう思われるのかなど」「自己や不安な気持ちもありましたか?」「田井先生の雰囲気を見て自分がとても合って安心します」や「田井先生元貞長、乙下さい」、「いつも丁寧にありがとうございます」と沢山の温かい言葉を掛け丁貞き、感謝の気持ちでいっぱいです。同時に一年後田井先生のクラスで良かったと見て丁貞けねるように毎日米青一木不元貞長、てきます。

幼稚園「教員」という仕事は決して楽ではありませんが、「子どもの成長に日々奮闘する事が出来る素晴らしい職業です。私の事を日々支えて下さる先生方、保育費の方に感謝申し、これからも過ごしていきます。

鹿島大学 短期大学部保育科 平成26年度卒

